

今年、コロナ感染のため、地域のお祭りや、防災センターの参加は見送りになりました。障がいのない子どもたちと活動する場面を作ることが、今回もすすまず力不足を反省しています。子供たちの垣根をつくらずという意味では、他事業所のデイのお子さんを招待して、プラネタリウムと一緒に楽しむことができました。お互いに良い刺激となり、同じ地域で生活しているということを見ると、必要なことであると感じました。

父母の会など保護者の連携については、事業所としては、イベント(クリスマス会、卒業の会等)の後に交流会を設定しましたが、参加希望が1~2人ととても少なく、実際には行えませんでした。御多忙とは思いますが、多くの保護者の参加をお願いできればと思います。

また、ホームページも中々目が見えない現状があり、別の手段での伝達方法を考えていくことも必要ではないかと考えています。

こぴーぬでは、6月より「プログラム教育」の導入をしたり、少しずつ障がい区分の拡がりの変化に応じた支援方法を検討、模索しています。

その時々で必要なことを、ひとつずつ考え、子供たちにとって、より良い居場所作りをしていくよう努力してまいります。

こぴーぬ反町ルーム

.

τ